第５回　本町通り商店街エリア　ウォーカブル勉強会

次第

日時：令和６年６月２７日（木）
１９：００～２０：３０
場所：本町ＢＡＳＥ（Web 併用）

１．これまでの振り返り

２．岐阜県大垣市の取組紹介

大垣市　都市計画課
安藤　氏

３．マルシェ「セキ日和」の取組報告

株式会社セキ日和
代表取締役　平野　氏

４．生活社会実験の時点報告
（意見交換）

５．今後の予定

第5回本町通り商店街エリア
ウォーカブル勉強会

１．これまでの振り返り

令和6年6月27日

関市都市計画課

1．国土交通省の施策

○　街路空間を車中心から「人」中心の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に活用し、人々が集い・憩い・多様な活動を繰り広げられる場へ
○　「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の創出による「魅力的なまちづくり」

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」形成のイメージ例

※地域特性に応じた取組を、歩ける範囲のエリアで集中的あるいは段階的に推進
※人口規模の大小等を問わず、その特性に応じた手法で実施可能



都市構造の改変等

○**都市構造の改変**（通過交通をまちなか外へ誘導するための外周街路整備等）
○都市機能や居住機能の**戦略的誘導**と**地域公共交通ネットワーク**の形成
○**拠点と周辺エリアの有機的連携**
○**データ基盤の整備**（人流・交通流、都市活動等に係るデータプラットフォームの構築等）等

居心地が良く歩きたくなるまちなか

Walkable　歩きたくなる
居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたくなる、歩きたくなる。

Eye level　まちに開かれた１階
歩行者目線の１階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで中が見えると、人は歩いて楽しくなる。

Diversity　多様な人々の多様な用途、使い方
多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

Open　開かれた空間が心地良い
歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。



1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化
民間敷地の一部を広場化（宮崎県日南市）



駅前のトランジットモール化と広場創出(兵庫県姫路市)



道路を占用した夜間オープンカフェ（福岡県北九州市）

２つの開発の調整により一体整備された神社と森(東京都中央区)





公園を芝生や民間カフェ設置で再生（東京都豊島区）

※国交省都市局「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」中間とりまとめ より抜粋

1．国土交通省の施策

地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築

国土交通省

ほこみち（歩行者利便増進道路）

【道路法等の一部を改正する法律案（R2.5.20成立、5.27公布）　11.25施行】

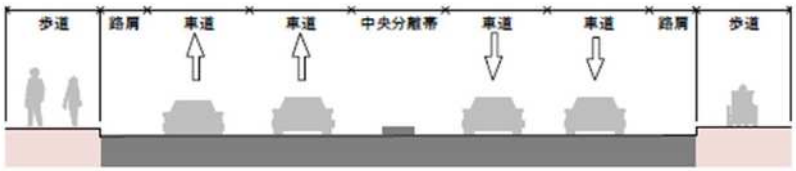
○ 賑わいのある道路空間を構築するための道路の指定制度を創設

歩行者の利便増進のための構造基準の策定

- 歩道等の中に、“歩行者の利便増進を図る空間”を定めることが可能に

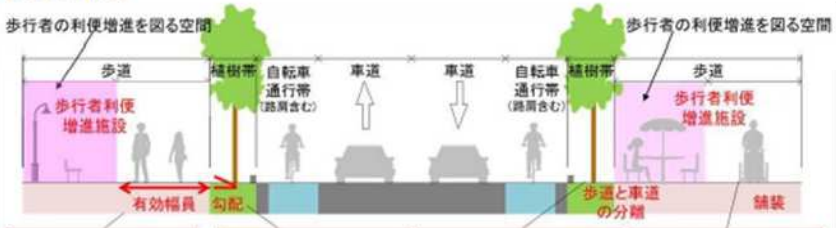
〔新たな構造基準のイメージ〕

【現行】



車道を４車線から２車線に減らし、歩道を拡幅

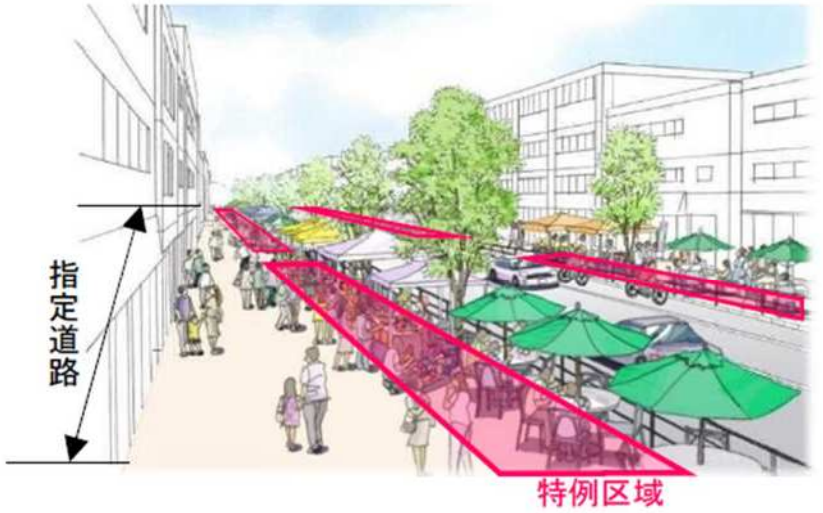
【改築後】



バリアフリー基準	バリアフリー基準	バリアフリー基準	バリアフリー基準
・車いす同士がすれ違える歩道の有効幅員（2.0m以上）を確保	・歩道の縦断勾配 5%以下（特例値8%） ・歩道の横断勾配 1%以下（特例値2%）	・植樹帯や並木や柵の設置 ・縁石の設置 高さ15cm以上	・透水性舗装を活用し、平坦で滑りにくく水はけが良い仕上げとする

利便増進のための占用を誘導する仕組みの導入

- 特例区域では、占用がより柔軟に認められる
- 占用者を幅広く公募し、民間の創意工夫を活用した空間づくりが可能に
- 公募により選定された場合には、最長20年の占用が可能（テラス付きの飲食店など初期投資の高い施設も参入しやすく）



※国交省道路局「歩行者利便増進道路　制度概要及び制度の流れ」より

1．国土交通省の施策

1. 背景：人中心の道路の実現に向けた方向性

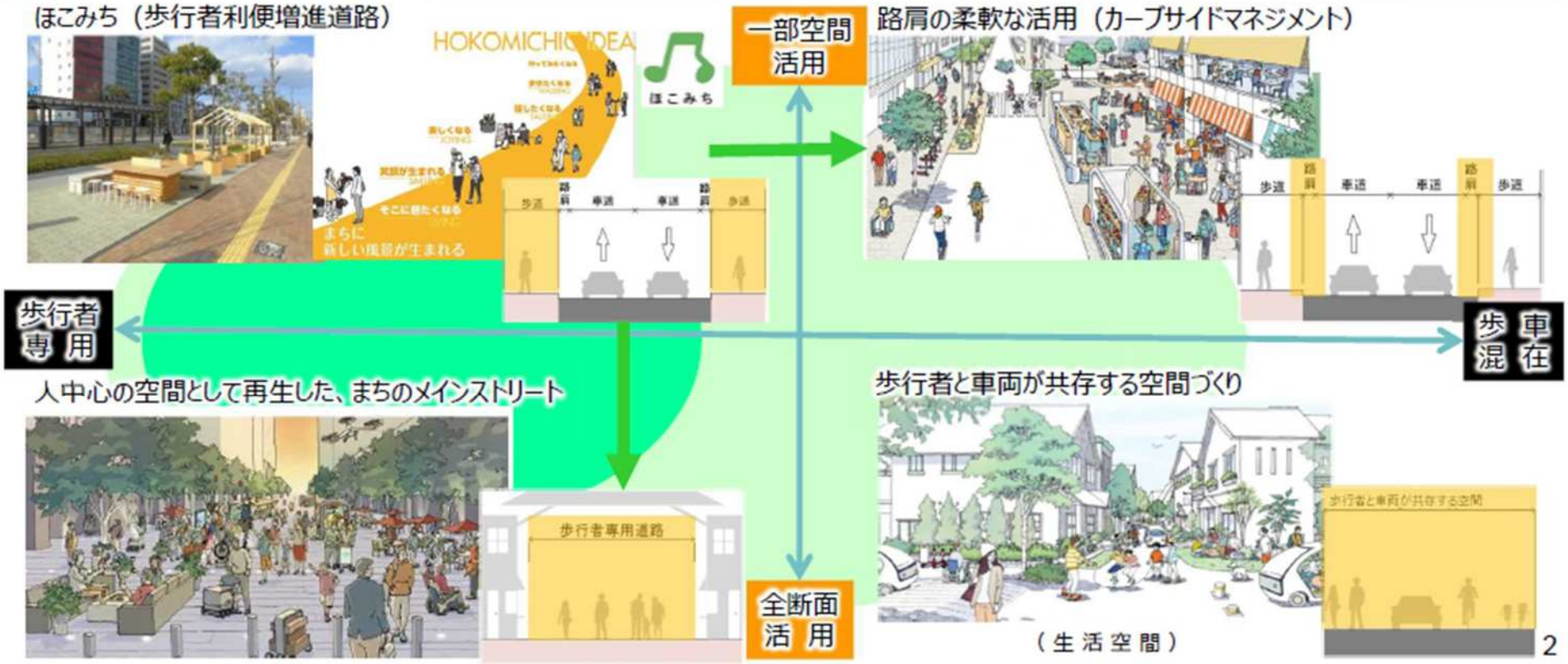
国土交通省

○道路政策のビジョン「2040年、道路の景色が変わる」にて、道路を人々が滞在し交流できる空間に回帰することが提示。

○「道路空間を街の活性化に活用したい」など、道路への新たなニーズを実現するため、人中心の道路空間を構築する“ほこみち“制度を2020年11月に創設。

○歩道に加えて、路肩（カーブサイド）の柔軟な活用、さらには道路全断面で歩行者優先で通行できる道路など、人中心の道路を実現する空間の創出について検討。

○生活道路における安全・安心な通行空間の確保等、歩行者が優先される道づくりを推進。



※国交省道路局「第82回基本政策部会（2023年8月9日）」より抜粋

第5回本町通り商店街エリア
ウォーカブル勉強会

３．マルシェ「セキ日和」の取組報告

セキ日和について
&
マルシェの実施報告

株式会社セキ日和　平野祥

アジェンダ

セキ日和

【団体としてのセキ日和について】
- セキ日和の活動とその目的

【マルシェ「セキ日和2024」の実施報告】
- マルシェの開催目的
- 実施概要
- 実施に向けた準備
- 当日の様子
- 来場者向け＆出店者向けアンケート結果
- 成果と課題
- 今後について

団体としてのセキ日和について

セキ日和の活動とその目的

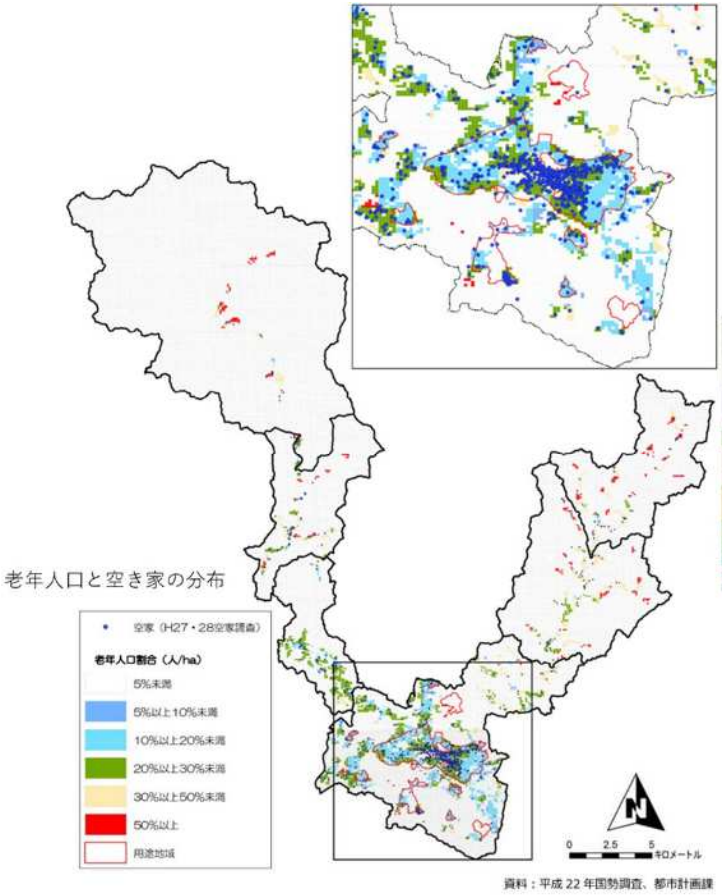
セキ日和

セキ日和の活動目的を一言でいうと

（日本のどんな町に対しても）

「なにもない」とは言わせない

関市中心市街地の現状


老年人口と空き家の分布
空家（H27・28空家調査）
老年人口割合（人/ha）
5%未満
5%以上10%未満
10%以上20%未満
20%以上30%未満
30%以上50%未満
50%以上
用途地域
0 2.5 5 キロメートル
資料：平成22年国勢調査、都市計画課




通
中濃交通本社


両口屋 ㇾとん店


岡本町4丁目





セキ日和の活動とその目的

セキ日和

「**衰退**」した過去を持つ町にはその町を象徴する「**景観**」が残る



中津川市：江戸～明治の景観
街道の衰退



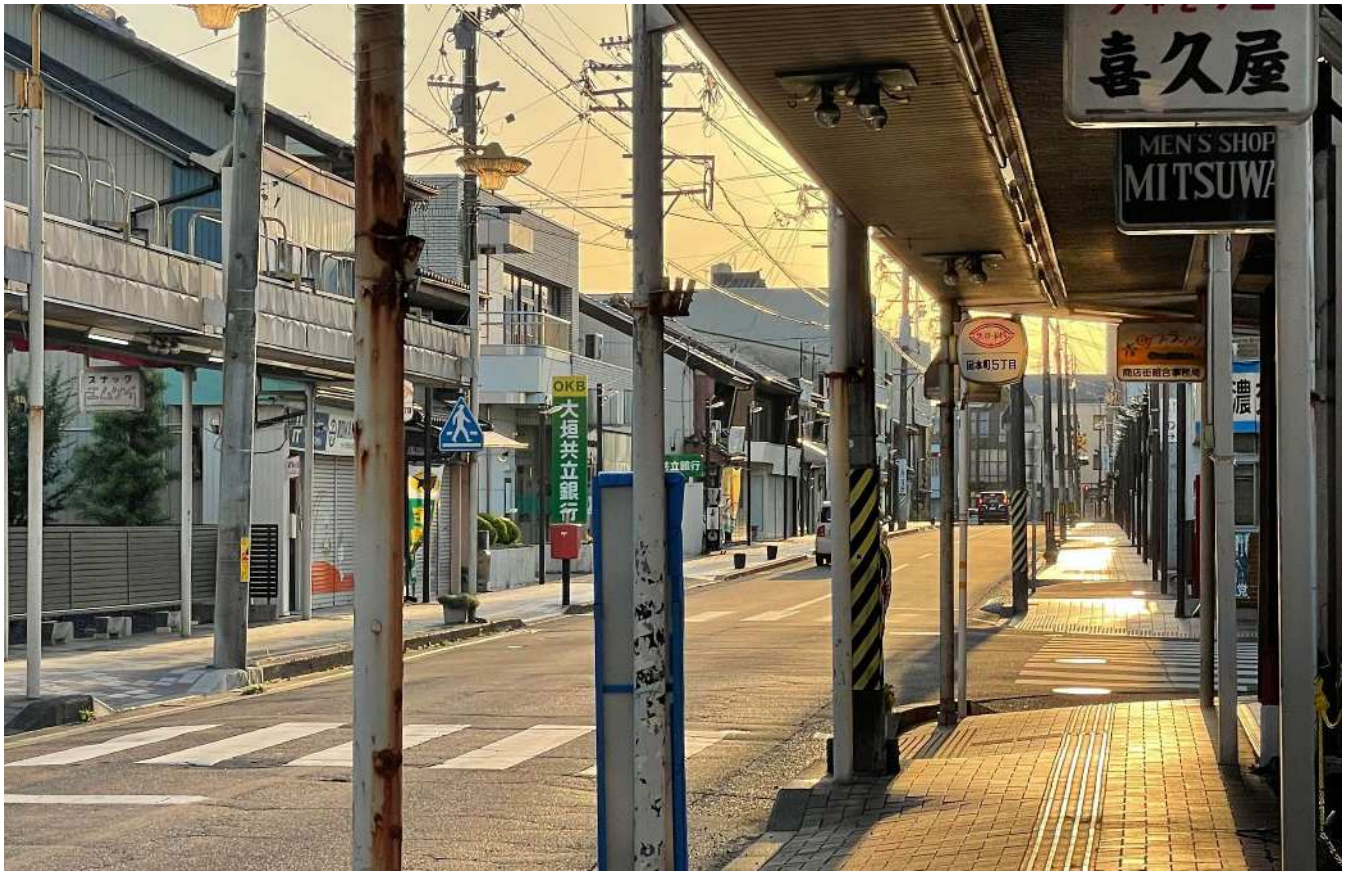
美濃市：明治～大正の景観
和紙産業の衰退



高山市：江戸～明治の景観
重工業化の乗り遅れ

セキ日和の活動とその目的

セキ日和



関市：昭和中期～後期の景観
自動車の普及と、商業形態の変化

セキ日和の活動とその目的

セキ日和の仮説：**関も、今この景観を残せばやがて町の重要な個性になるのでは…？**

だから…

活動方針：「**関の中心市街地に残るレトロな町並みを守り、活かす**」

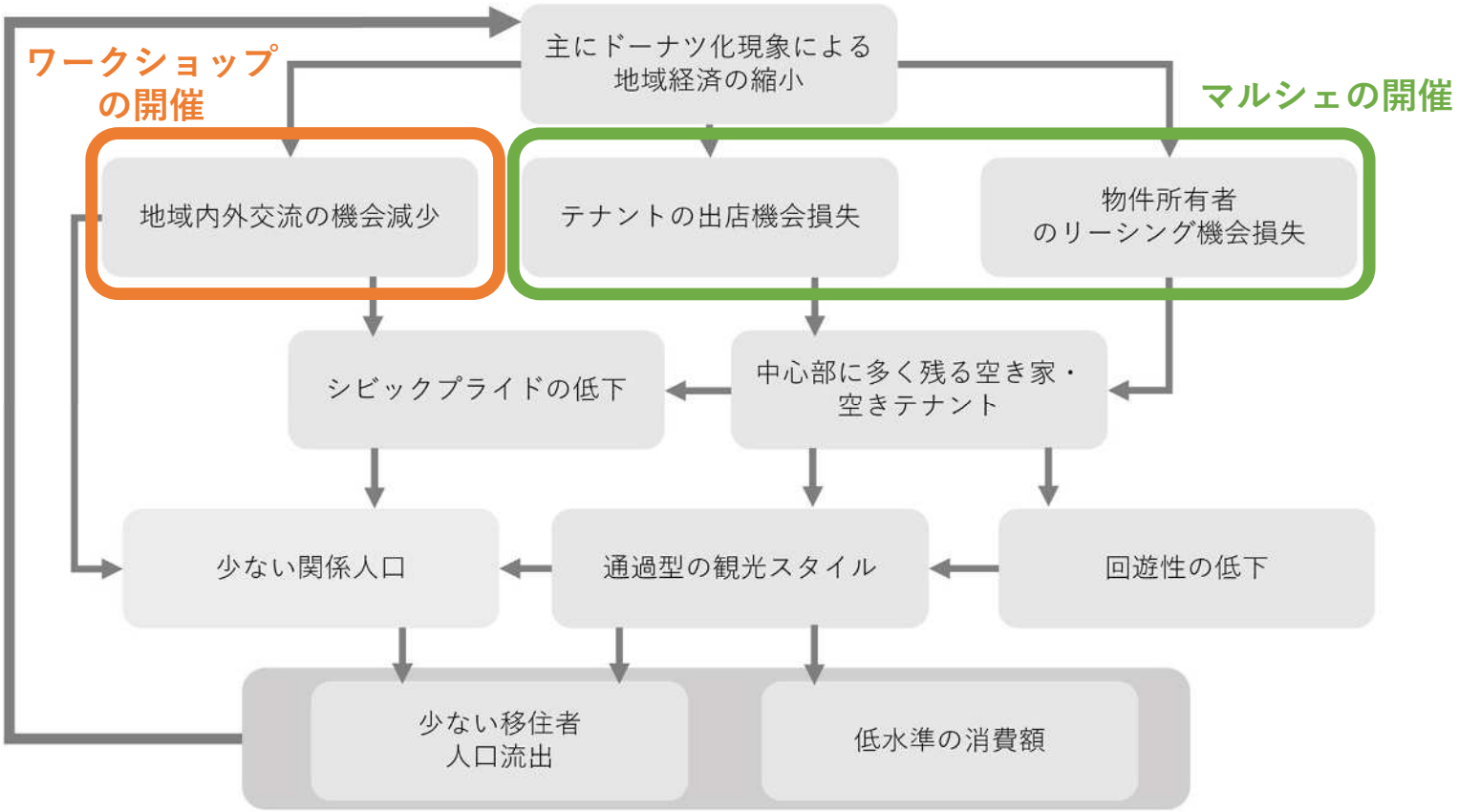
そのために…

活動内容

マルシェ＝理想の共有
空き家を活用して、
所有者・テナント・住民の
マインドを変えていこう！

ワークショップ＝視点の共有
町並みの魅力や
価値に気付いてもらおう！

関市中心市街地の課題


ワークショップ
の開催
主にドーナツ化現象による
地域経済の縮小
マルシェの開催
地域内外交流の機会減少
テナントの出店機会損失
物件所有者
のリーシング機会損失
シビックプライドの低下
中心部に多く残る空き家・
空きテナント
少ない関係人口
通過型の観光スタイル
回遊性の低下
少ない移住者
人口流出
低水準の消費額

マルシェ「セキ日和2024」実施報告

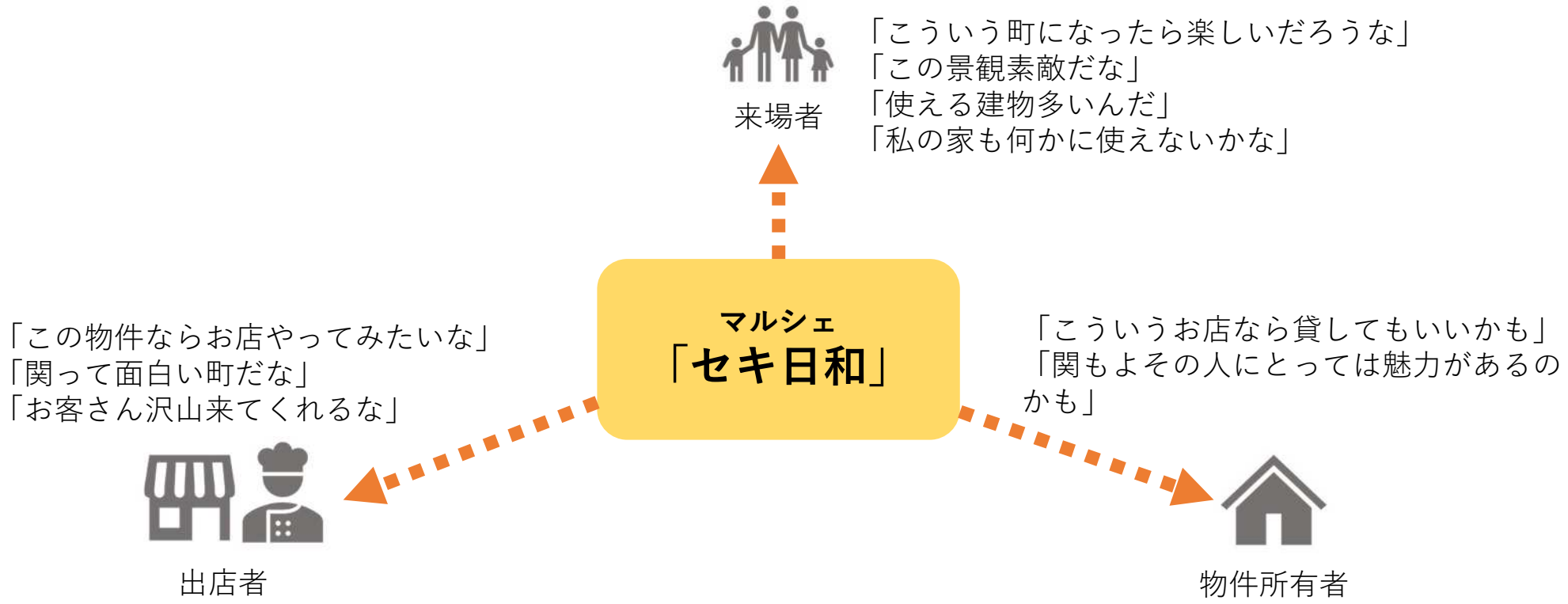
そもそものマルシェ開催目的

1. イベント開催を通じた関市中心市街地の**賑わい創出**
2. 関市中心市街地での**出店**等に**関心の高い出店者**の**把握**及び関係構築
3. 関市中心市街地における**遊休不動産の把握**及び所有者との関係構築
4. 関市中心市街地の**景観保全**に向けた物件所有者、出店者、地域事業者及び来場者におけるその**潜在的価値の認識拡大**

そもそものマルシェ開催目的

セキ日和

３方向へのワクワク創出



マルシェ実施概要

セキ日和

実施期間：２０２４年6月１日（土）、6月2日（日）　各日10:00～16:00

※6月2日は天候不良のため開催中止

実施体制：主催…関市役所都市計画課、企画運営…株式会社セキ日和

来場者数：約2,000名

開催場所：関市本町１丁目～8丁目の空き店舗や空き地、空きスペース

使用した物件数：32件（うち市による管理：３件）

出店店舗数：1日目：53店舗（2日目：55店舗が出店を予定していた）

メインターゲット：20代～30代の女性



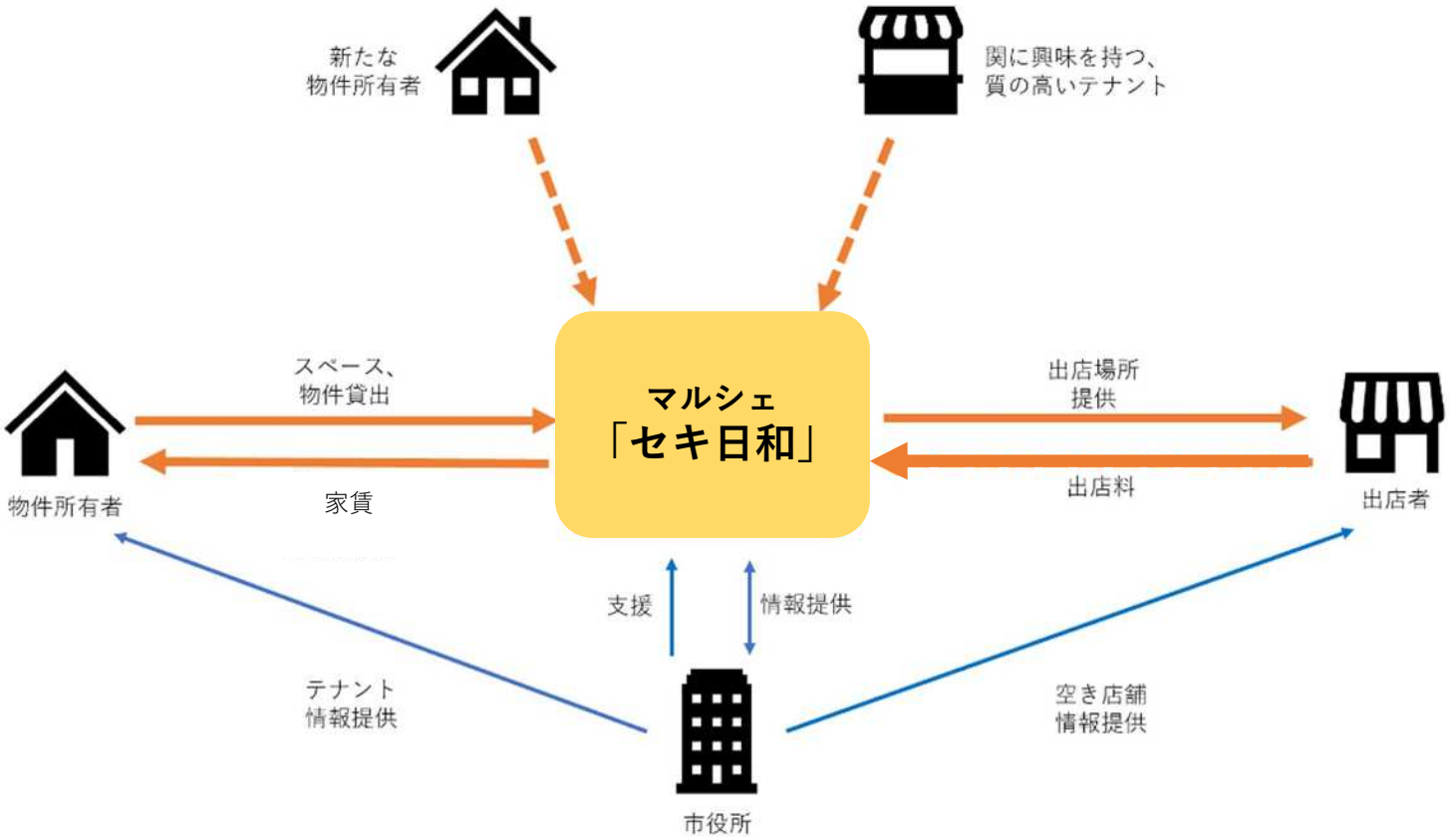




マルシェ実施概要

セキ日和

セキ日和実施スキーム



実施に向けた準備　～出店者の確保～

「出店者募集要項」に基づき、Instagram上で出店者の募集を行った。

① 募集開始後、**出店者側から出店希望**の旨を伝える連絡があった数：**51 店舗**
→そのうち出店が確定した数：**47店舗**

② 運営である**セキ日和側から出店誘致**の連絡を行った数：**57 店舗**
→そのうち出店が確定した数：**27 店舗**

③ 最終的な出店者数：**74** 店舗
→そのうち**昨年度からのリピーター**である出店者数：**33 店舗**







実施に向けた準備　～出店場所の確保～

１日あたり1000 円の賃料を支払う条件で本町１丁目から７丁目において空き店舗や空き地、空きスペース等物件の確保を行った。

① 物件の**イベント時短期使用可否を確認**した物件**総数**：**35 軒**

② イベント時の短期**使用許可を得た物件数**：**29 軒**（古民家あいせき、本町BASE等は含まず）

本町１丁目：8 軒　本町２丁目：3 軒　本町3 丁目：５軒　本町4 丁目：3 軒

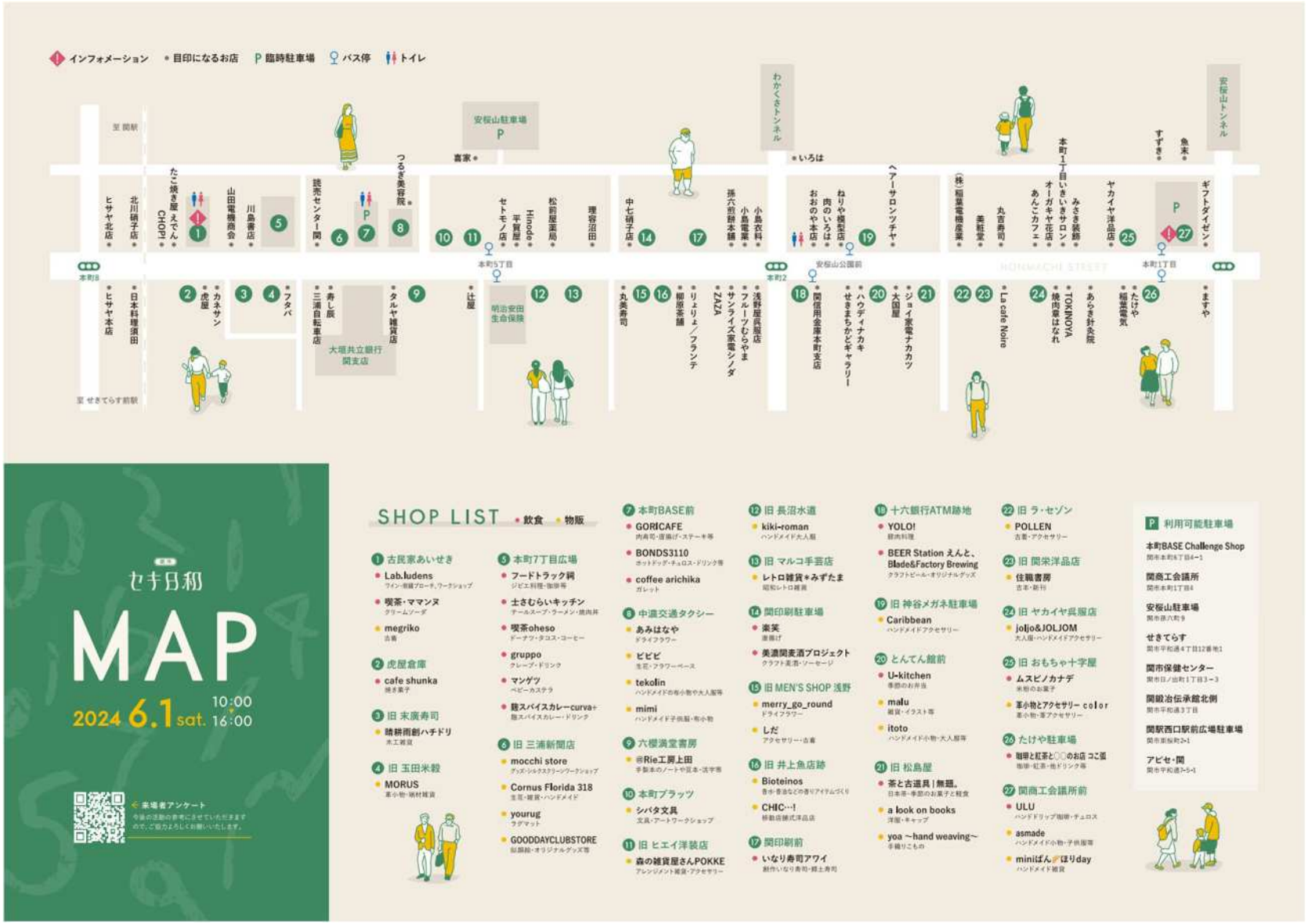
本町5 丁目：2 軒　本町6 丁目：3 軒　本町７丁目：3 軒

→上記のうち**昨年度から継続して使用許可**を得た物件数：**11 軒**

→上記のうち**今年度から使用許可**を得た**新規物件**数：**18 軒**

③ 昨年度は使用許可を得たが今年度は使用不可だった物件数：1 軒

実施に向けた準備　～出店場所の確保～



SHOP LIST　飲食　物販

1 古民家あいせき
- Lab.ludens　ワイン・前菜プロセ、ワークショップ
- 喫茶・ママンヌ　クリームソーダ
- megriko　古着

2 虎屋倉庫
- cafe shunka　焼き菓子

3 旧 末廣寿司
- 晴耕雨創ハチドリ　木工雑貨

4 旧 玉田米穀
- MORUS　革小物・納材雑貨

5 本町7丁目広場
- フードトラック絆　ジビエ料理・珈琲等
- 土さむらいキッチン　テールスープ・ラーメン・焼肉丼
- 喫茶oheso　ドーナツ・タコス・コーヒー
- gruppo　クレープ・ドリンク
- マンゲツ　ベビーカステラ
- 麓スパイスカレーcurva+　麓スパイスカレー・ドリンク

6 旧 三浦新聞店
- mocchi store　グッズ・シルクスクリーンワークショップ
- Cornus Florida 318　生花・雑貨・ハンドメイド
- yourug　ラグマット
- GOODDAYCLUBSTORE　似顔絵・オリジナルグッズ等

7 本町BASE前
- GORICAFE　肉寿司・唐揚げ・ステーキ等
- BONDS3110　ホットドッグ・チュロス・ドリンク等
- coffee arichika　ガレット

8 中濃交通タクシー
- あみはなや　ドライフラワー
- ビビビ　生花・フラワーベース
- tekolin　ハンドメイドの布小物や大人服等
- mimi　ハンドメイド子供服・布小物

9 六櫻満堂書房
- ※Rie工房上田　手製本のノートや豆本・活字等

10 本町プラッツ
- シバタ文具　文具・アートワークショップ

11 旧 ヒエイ洋装店
- 森の雑貨屋さんPOKKE　アレンジメント雑貨・アクセサリー

12 旧 長沼水道
- kiki-roman　ハンドメイド大人服

13 旧 マルコ手芸店
- レトロ雑貨＊みずたま　昭和レトロ雑貨

14 関印刷駐車場
- 楽笑　車揚げ
- 美濃関麦酒プロジェクト　クラフト麦酒・ソーセージ

15 旧 MEN'S SHOP 浅野
- merry_go_round　ドライフラワー
- しだ　アクセサリー・古着

16 旧 井上魚店跡
- Bioteinos　青汁・香油などの香りアイテムづくり
- CHIC…!　移動店舗式洋品店

17 関印刷前
- いなり寿司アワイ　創作いなり寿司・郷土寿司

18 十六銀行ATM跡地
- YOLO!　豚肉料理
- BEER Station えんと、Blade&Factory Brewing　クラフトビール・オリジナルグッズ

19 旧 神谷メガネ駐車場
- Caribbean　ハンドメイドアクセサリー

20 とんてん館前
- U-kitchen　季節のお弁当
- malu　雑貨・イラスト等
- itoto　ハンドメイド小物・大人服等

21 旧 松島屋
- 茶と古道具｜無題。　日本茶・季節のお菓子と軽食
- a look on books　洋服・キャップ
- yoa ～hand weaving～　手織りこもの

22 旧 ラ・セゾン
- POLLEN　古着・アクセサリー

23 旧 関栄洋品店
- 住職書房　古本・新刊

24 旧 ヤカイヤ呉服店
- joljo&JOLJOM　大人服・ハンドメイドアクセサリー

25 旧 おもちゃ十字屋
- ムスビノカナデ　米粉のお菓子
- 革小物とアクセサリー color　革小物・革アクセサリー

26 たけや駐車場
- 珈琲と紅茶と○○のお店 コこ弧　珈琲・紅茶・他ドリンク等

27 関商工会議所前
- ULU　ハンドドリップ珈琲・チュロス
- asmade　ハンドメイド小物・子供服等
- miniばん🎲ほりday　ハンドメイド雑貨

P 利用可能駐車場
- 本町BASE Challenge Shop　関市本町6丁目4−1
- 関商工会議所　関市本町1丁目4
- 安桜山駐車場　関市原六町9
- せきてらす　関市平和通4丁目12番地1
- 関市保健センター　関市日ノ出町1丁目3−3
- 関鍛冶伝承館北側　関市平和通3丁目
- 関駅西口駅前広場駐車場　関市栄和町2−1
- アピセ・関　関市平和通3−5−1

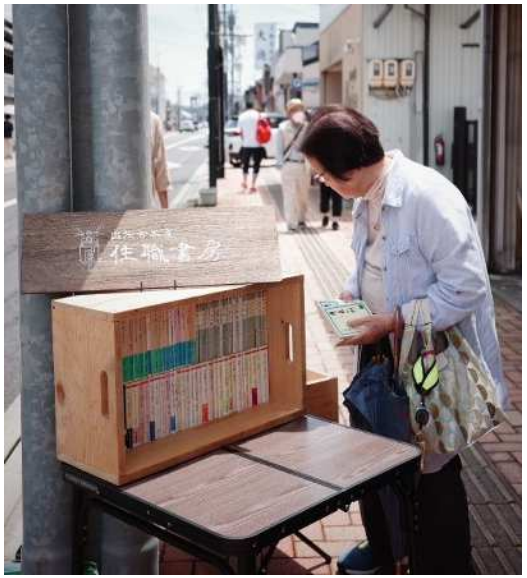
実施に向けた準備　～広報について～

セキ日和

広報活動に関しては**メインターゲットである20代～30代の女性層にリーチすべく**、
主にInstagram を活用し、以下の内容の投稿を行った。

① メインビジュアルの公開及びイベント開催のお知らせ
② 出店者の紹介
③ イベント会場周辺の臨時駐車場の案内
④ イベント会場のマップ公開

その他**新聞の掲載**、関市民向け**あんしんメールでのお知らせ**も行った。





2024年(令和6年)5月29日(水曜日)

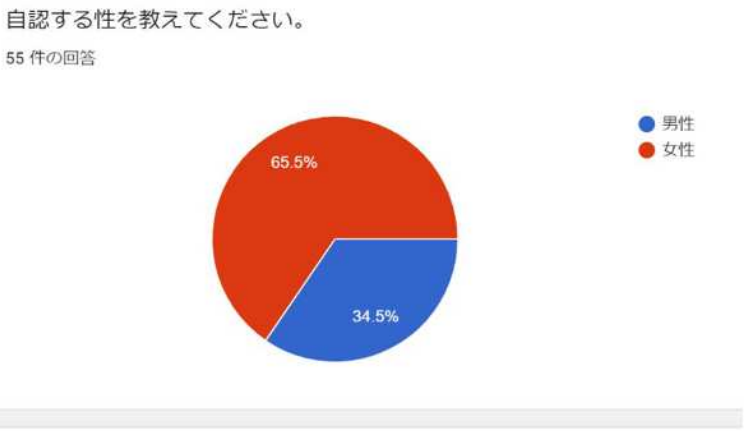
関・本町通り商店街 空き店舗でマルシェ

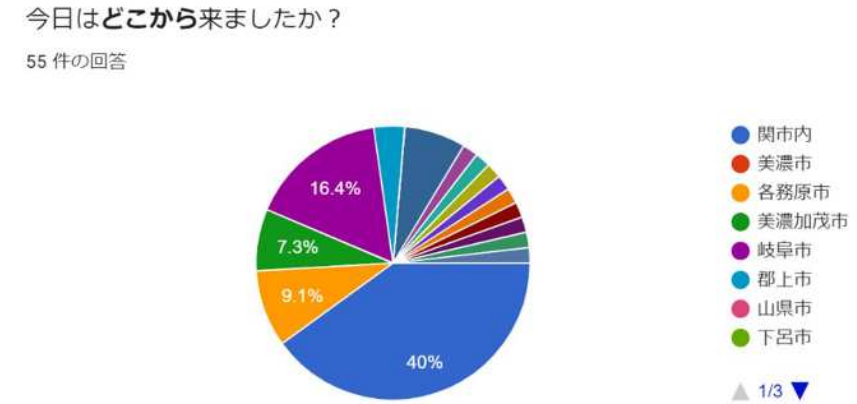
歩いて楽しむ昭和な町並み

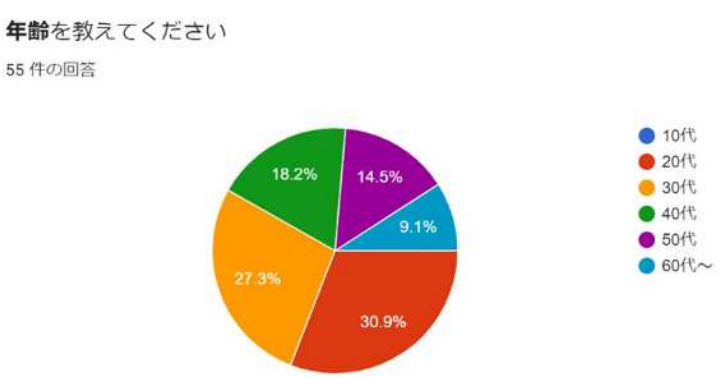
1、2日 にぎわい創出へ 社会実験も

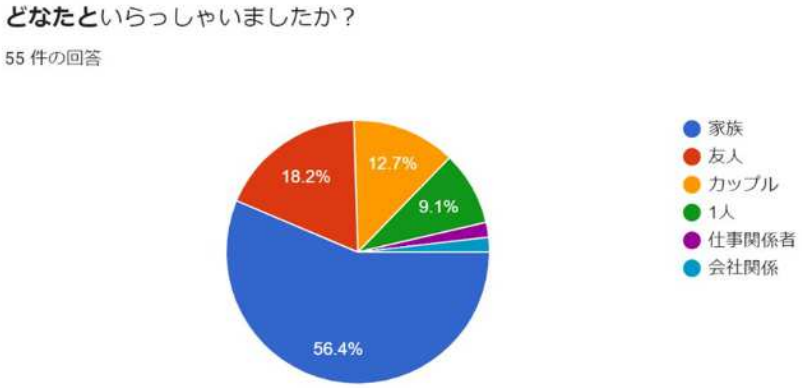


来場者向けアンケート結果







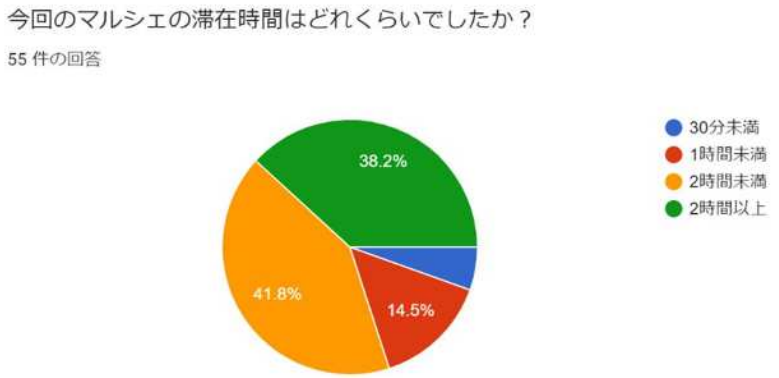


■**女性**が多い。**家族連れ**の数が多かった。

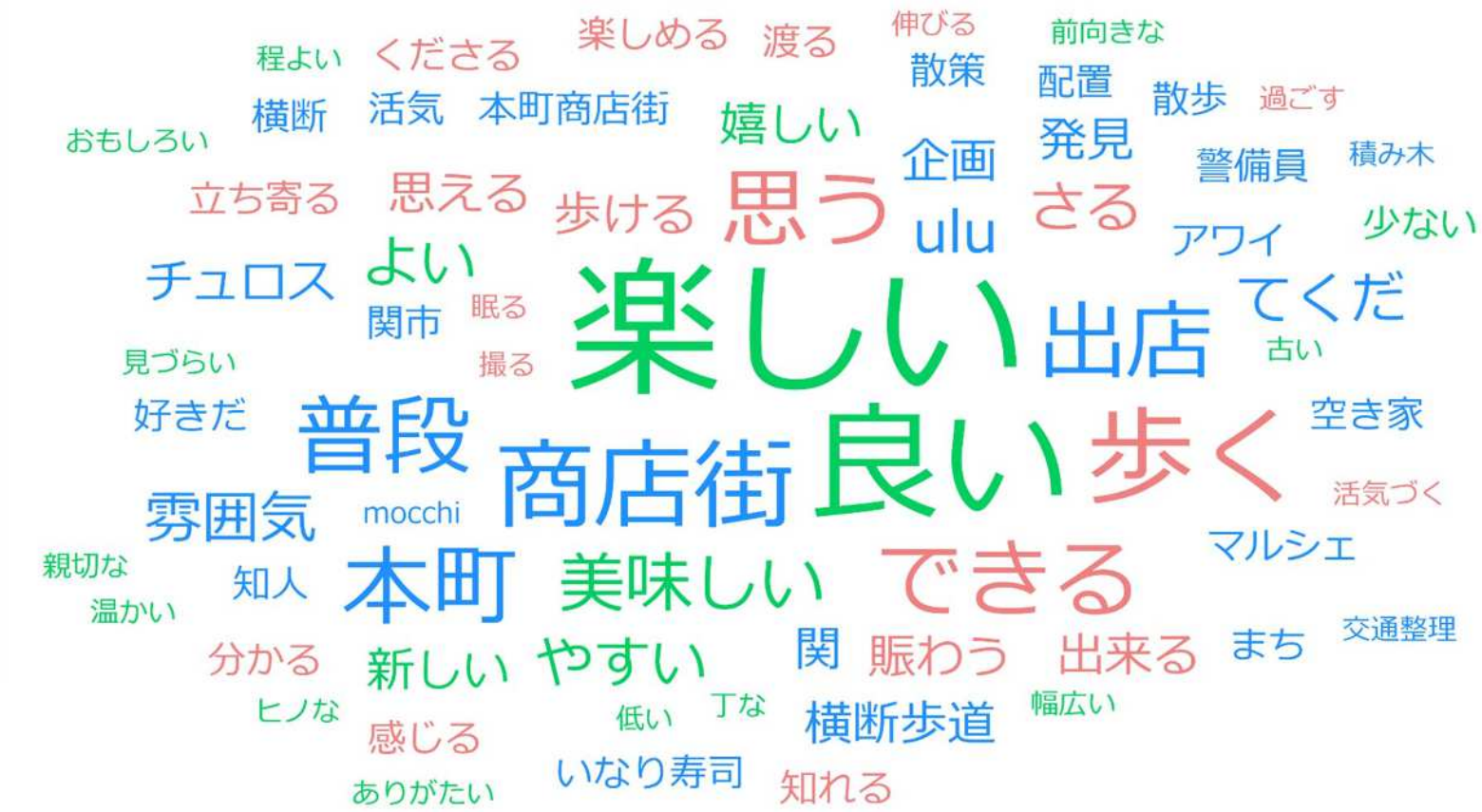
■**２０～３０代が約6割**を占めるものの、幅広い世代が来場

■**4割が関市**からの来場。**6割が地域外**からの来場。

■来場者のマルシェ会場における**滞在時間**は少なくとも**1時間以上が8割以上、2時間以上が約4割**



来場者向けアンケート結果



■イベントの満足度は約9割。

■良かった点として多かった声

こんなに本町には素敵な店があるんだということも分かりました。

初めて商店街を歩いて色んなお店があることを知れてよかった

関市の商店街に若い人中心に行き交っているのが印象的でした。

何年か振りに本町を歩く事ができて懐かしく思えた。

■改善点として上がった声

せっかくの各店が奥まったり、陰に入り込んでいて、ちょっとわかりづらいな、、

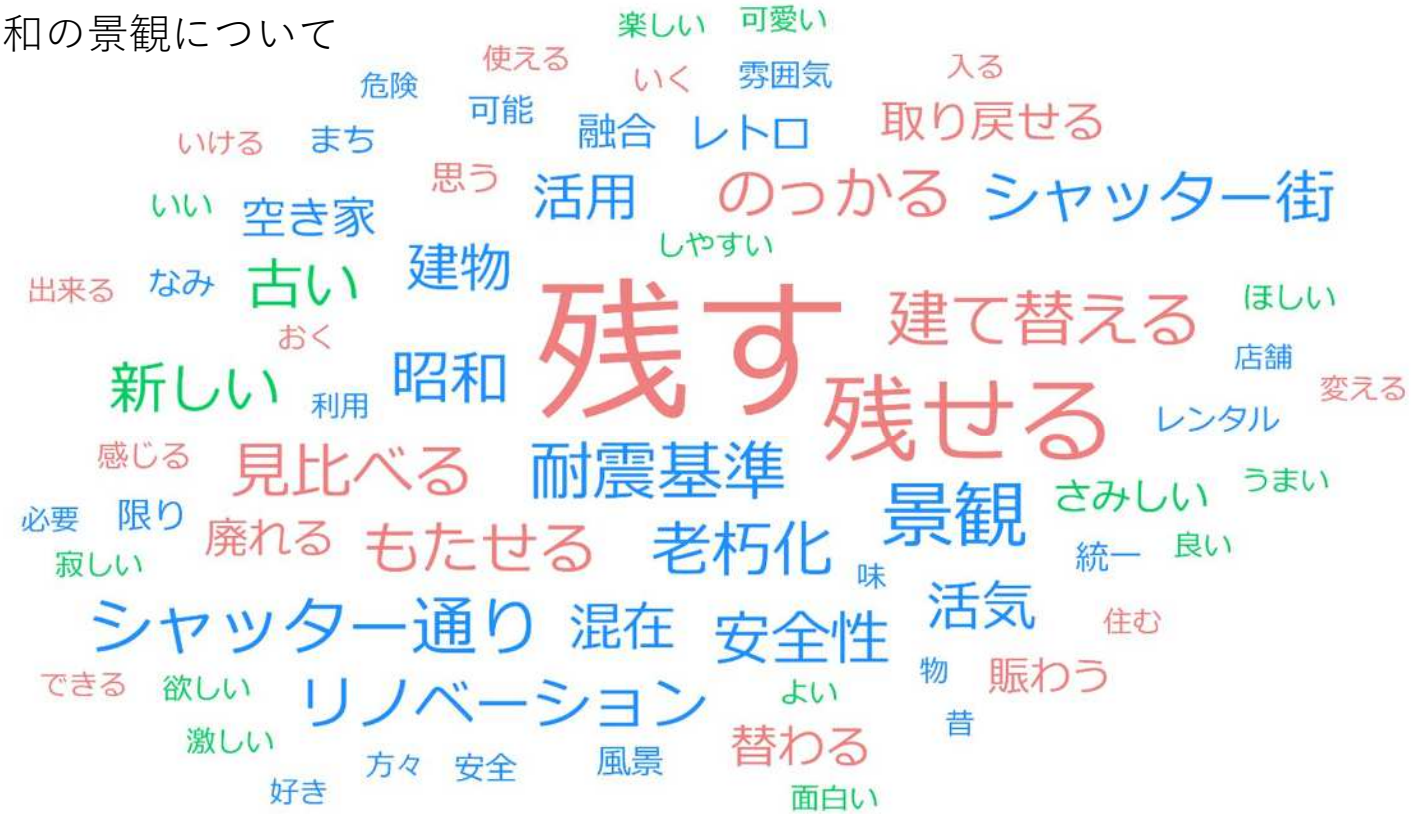
日差しが強かったので屋根のあるベンチがもう少しあると嬉しかった

お店の感覚が広すぎる箇所があった

ゴミ箱がもう少し各所にあると嬉しい

来場者向けアンケート結果

中心市街地の昭和の景観について



■昭和の景観について上がった意見

可能な限り残すべき

残せる建物は残して欲しい

新しい建物とうまく共存していければよいのでは

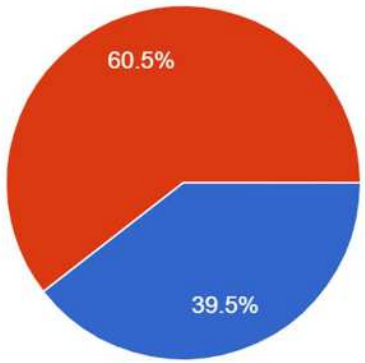
新しいものと融合させていって欲しい

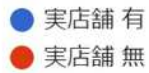
老朽化が激しいものは変えるべきだが基本そのままがいい

出店者向けアンケート結果

実店舗の有無を教えてください

38 件の回答

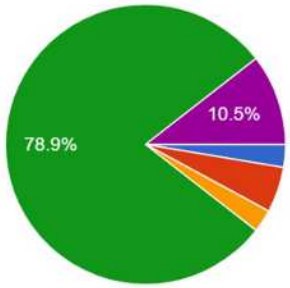


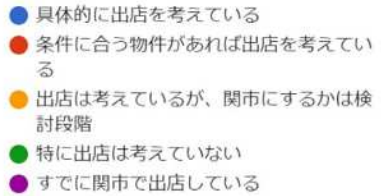


今後、関市での**新規店舗の出店**を考えていますか

コピー

38 件の回答





■実店舗を持たないお店は**約6割**

→関に出店するのもあり得なくはない？

■出店の具体性

「条件に合う物件があれば」

「お店は出したいが関にするかは検討」

「具体的に関での出店を検討中」

が**約1割**。

→この割合をもっと増やしたい。

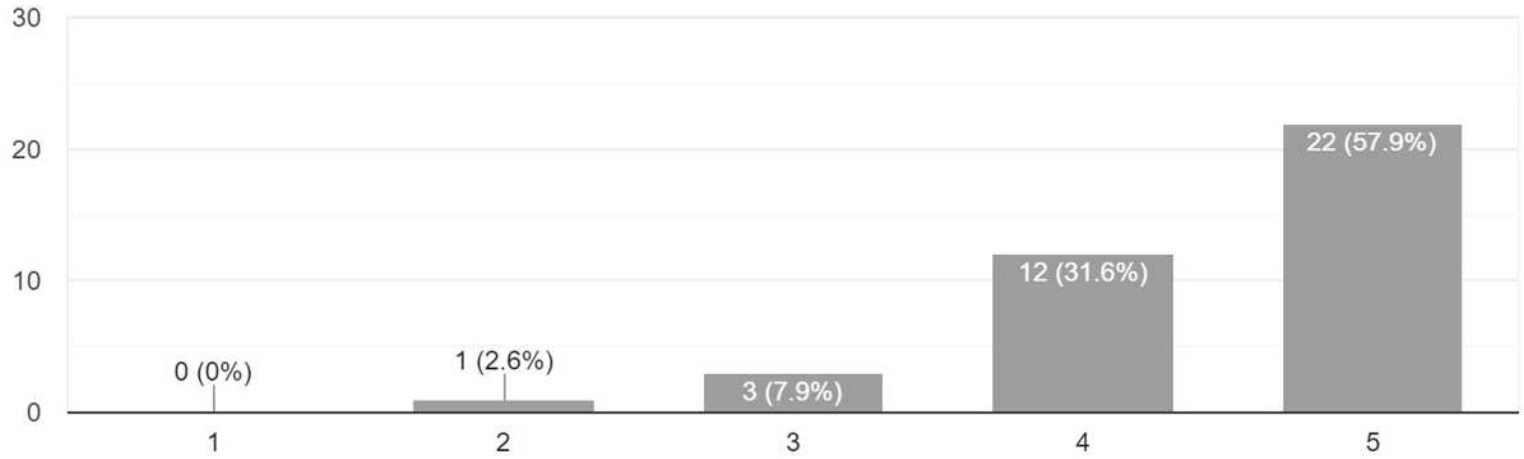
→希望家賃は～4万円

出店者向けアンケート結果

本イベントの**満足度**をお聞かせください

コピー

38 件の回答



■イベントの満足度は約9割。

■良かった点として多かった声

このイベントからお店や場所が新しく始まる未来を、なんだか想像出来てワクワクしました

2.3軒隣り合う場合もお店の雰囲気などよく考えられていたと思う

街並みを歩きながら楽しめるイベントはあまりないので企画として面白かったし、運営の皆さんの町への想いが感じられる

宣伝力。名古屋や三重からもお客さまがみえていた 特に若い人たちが多かった

街の方たちと準備の時からお話しする事ができて、とても嬉しかった。

■改善点として上がった声

中止の連絡がもう少し早いとありがたい

出店者を増やすか、範囲を狭くするか…。途中まではアーケイドがあるので良いのですが、アーケイドがないところは気持ち的に遠く感じました。

イベントの区間、距離が長く感じました。

地域から聞かれた声

-**短期的な貸出**をもっとやるべき

-**出店者さんと繋がり**ができた。今後の**イベントでもコラボ**したい（する予定）

-意外と**若者が大勢**来ていた。**最近の方法**だけど**広報はできて**いたんじゃないか

-**2日目はもったいなかった。**

-**年**に１回とは言わず、**複数回**やってほしい。

-**昔の商店街みたい**でとてもよかった。あえて**通行止めにしていないのがいい。**

-とても**いい出店者さん**たちだった。いつでも貸します。











課題

■イベント頻度

年1 回のみのイベント開催では、持続可能な賑わい創出に繋げることは難しい。新たなイベントの創出を通して一過性の取り組みとならないような施策が求められる。

■出店者について

出店者向けアンケート結果によれば、実際に今後の出店の意向を示したのが4 店舗に留まった。イベントの集客力向上やターゲットとする出店者の精査が必要である。

■物件について

本町４丁目5 丁目においては遊休不動産が多くあるものの所有者との関係構築には至っていない物件が多い。

■暑さ対策・休憩場所

本イベント当日が気温３０℃を超える暑さだったこともあり、イベント会場内に設置した休憩場所やベンチの日除け対策を求める声が来場者向けアンケートに散見された。

■開催エリア

出店者向けアンケートでは、「イベント会場が広く回り切れない」との意見が散見された。

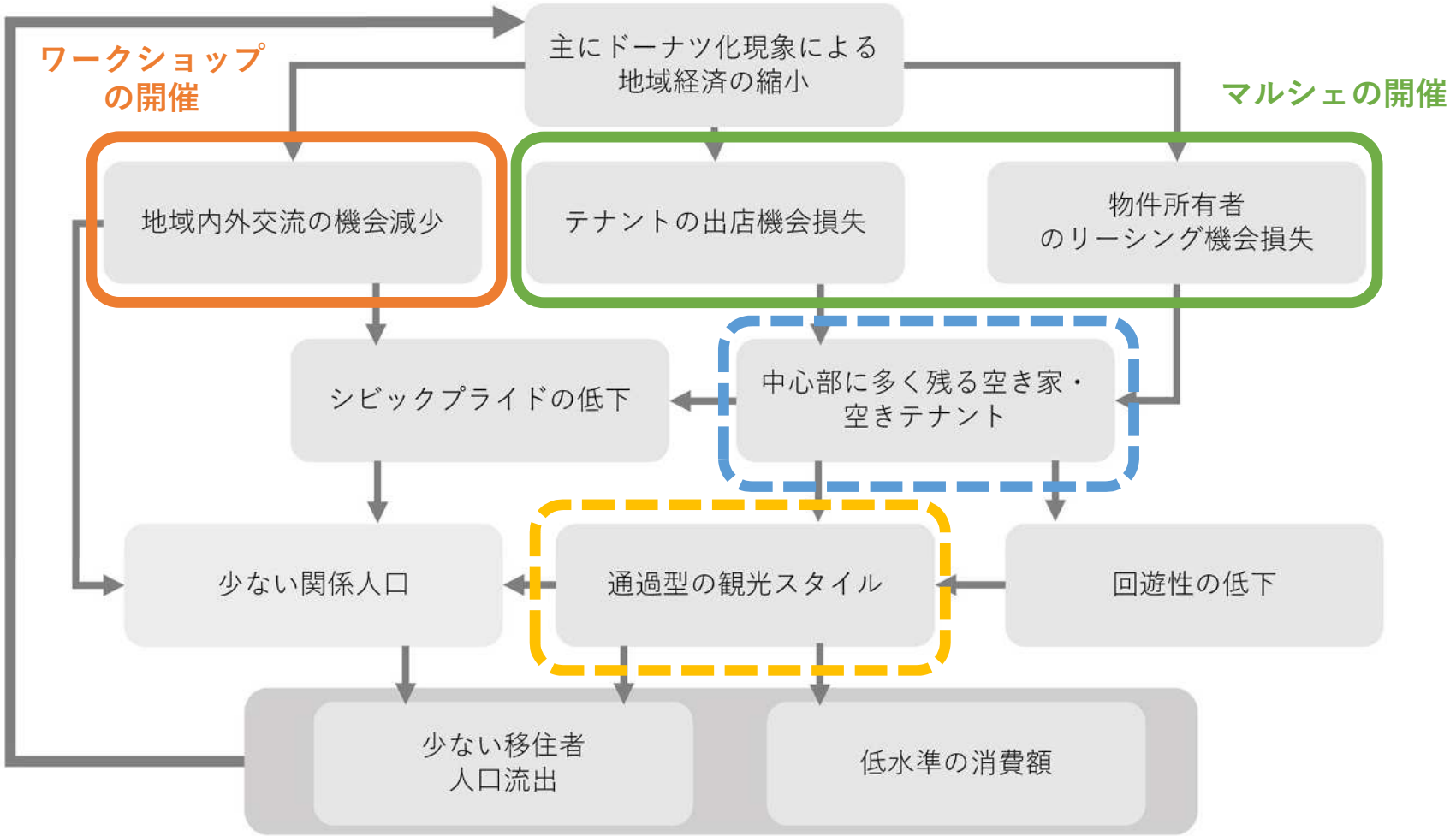
■トイレ

会場内にトイレが3 か所しかないため、トイレを探す来場者が多く見られた。

■中止判断とその基準

2 日目である6 月2 日の中止連絡がとりわけ飲食関係の出店者からは「直前すぎる」との意見が相次いだ。今後はより詳細な中止判断基準の設定と遅くとも前日中の中止判断が必要である。

今後について


ワークショップ
の開催
主にドーナツ化現象による
地域経済の縮小
マルシェの開催
地域内外交流の機会減少
テナントの出店機会損失
物件所有者
のリーシング機会損失
シビックプライドの低下
中心部に多く残る空き家・
空きテナント
少ない関係人口
通過型の観光スタイル
回遊性の低下
少ない移住者
人口流出
低水準の消費額

第5回本町通り商店街エリア
ウォーカブル勉強会

４．生活社会実験の時点報告

1．生活社会実験の目的

【市街地中心部の現況】

- 市街地中心部を回遊できる遊歩道整備を実施（令和3年度～令和7年度）
- 本町通り商店街の空き店舗を活用したマルシェの実施
- 新規出店により快適な生活環境の提供と地域活性化の加速
- 歩行者の利便増進を図るため、道路区域外に滞留施設を設置







【生活社会実験の目的】

- 公共空間利活用に対する地域住民の意識醸成
- 沿道環境の変化に伴う歩行者の行動変容調査
- 歩行者中心の道路空間再構築への課題検証、整備内容の検討（計画反映）

【将来的な取組目標】

- 歩行者利便増進道路への指定によるにぎわい空間の創出
- 滞在快適性等向上区域を整備計画で位置づけ、官民一体による公共空間の創出
- 歩行者の安全性、快適性の向上を図る

2．生活社会実験の概要



【生活社会実験の概要】

■期間

- 令和6年5月31日から7月31日まで（2ヶ月）

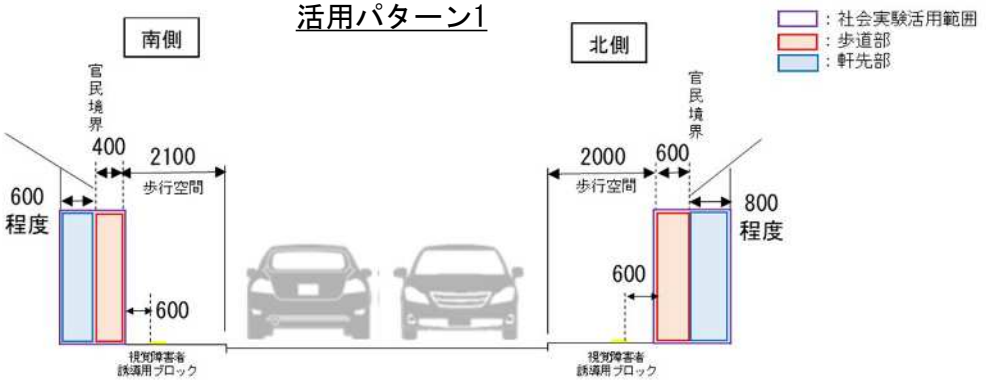
■場所

- 本町1丁目から7丁目の区間

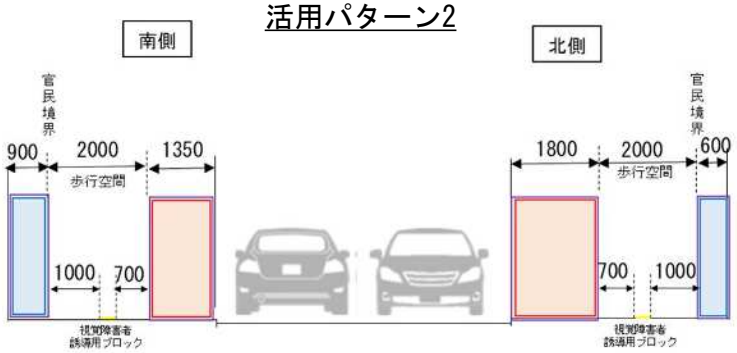
■内容

- 歩道と軒先の利活用を検証する実験
- 歩道上の白線の内側が自由に使えるスペースとして確保
- ベンチ等の休憩施設を一時的に設置

活用パターン1



活用パターン2



３．生活社会実験の状況（設置物の活用）









３．生活社会実験の状況（歩道・軒先の活用）



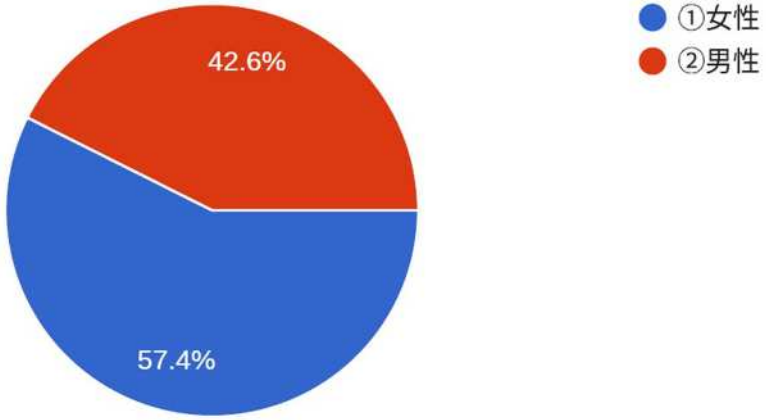




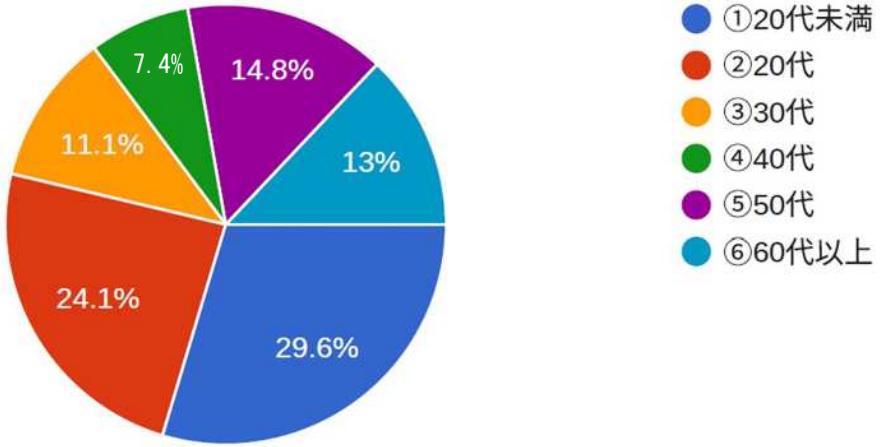


4．アンケート結果（歩行者）【回答：54件】

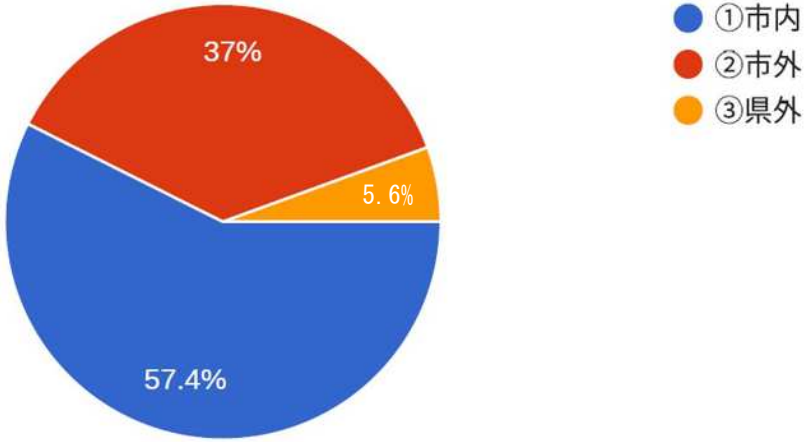
- 自認する性別



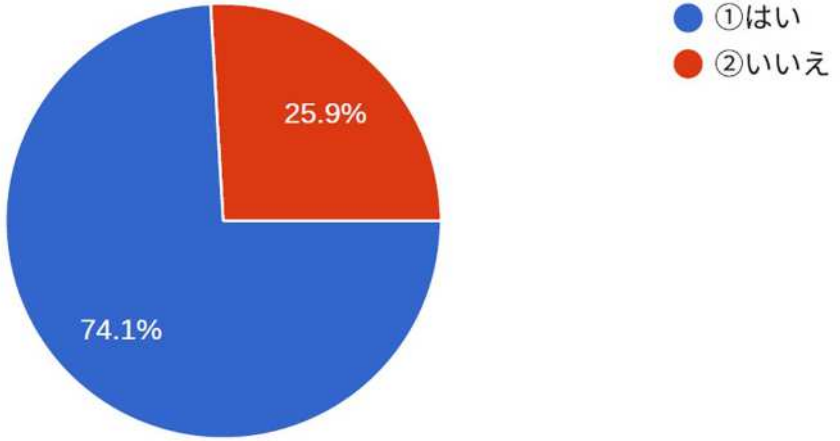
- 年代



- 居住地域

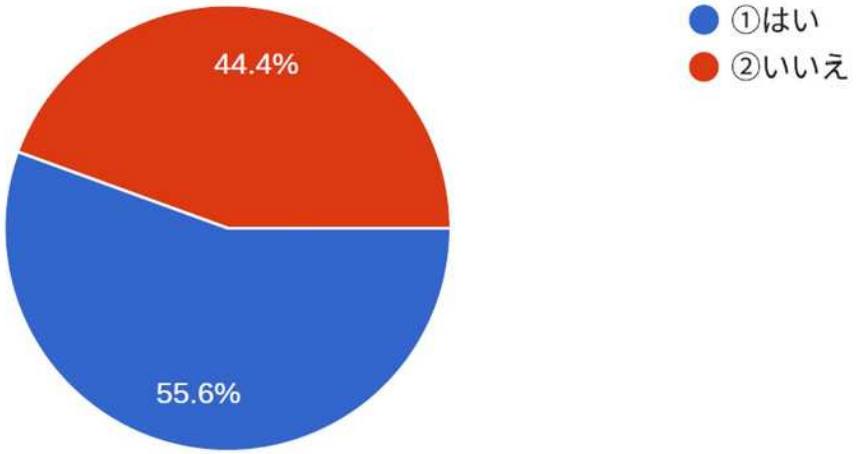


- 沿道店舗への立寄り

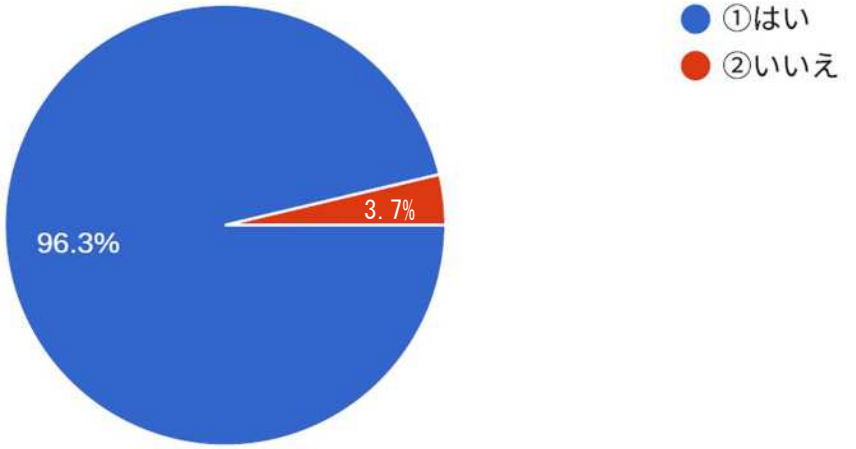


4．アンケート結果（歩行者）【回答：54件】

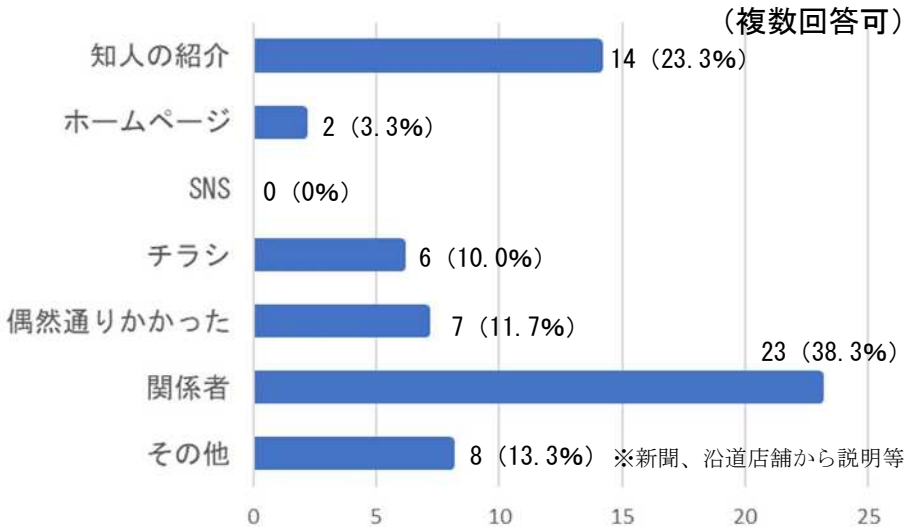
- 社会実験を知っていましたか。



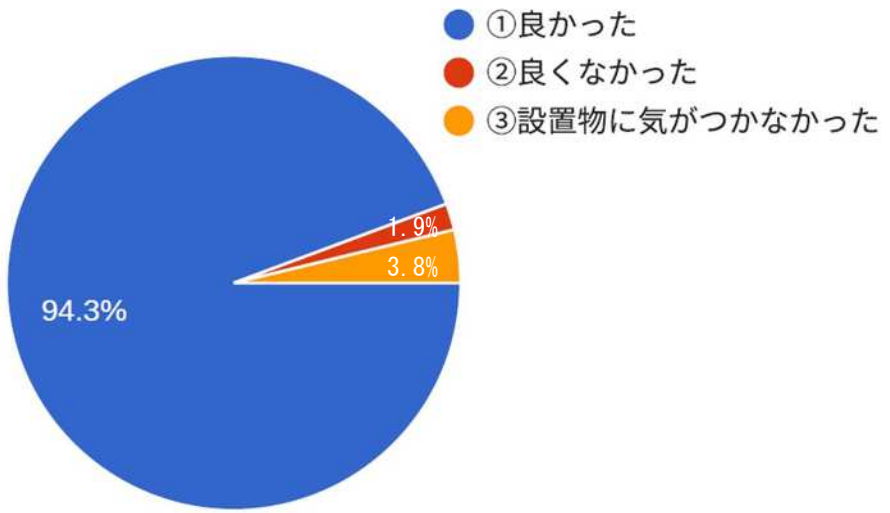
- 設置物があっても安全に通行できますか。



- 社会実験を何から見聞きしましたか。

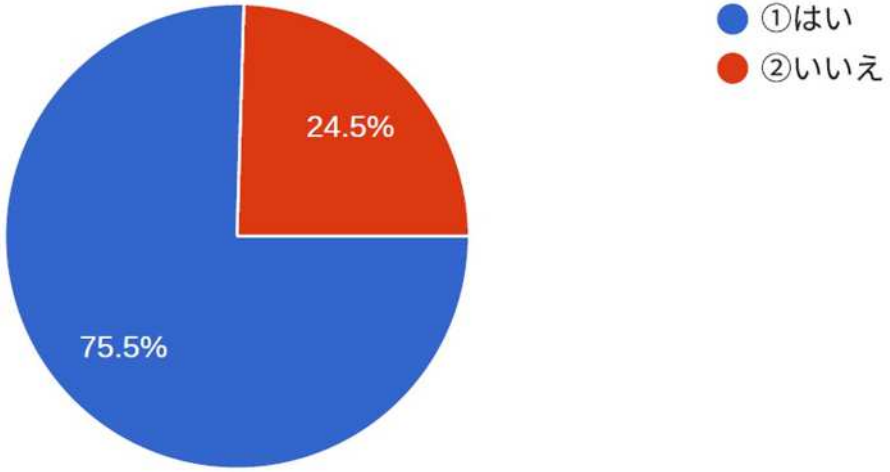


- 歩道への設置物があって良いと思いますか。

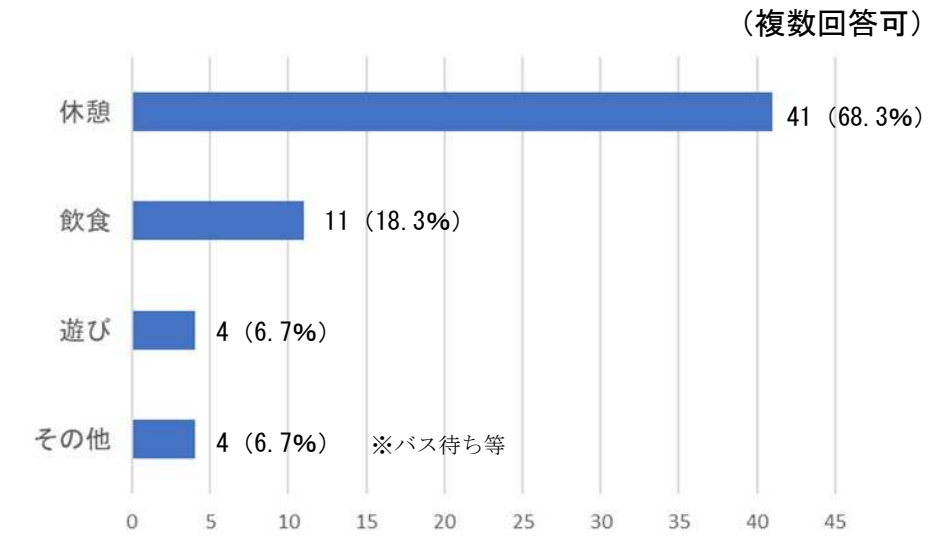


4．アンケート結果（歩行者）【回答：54件】

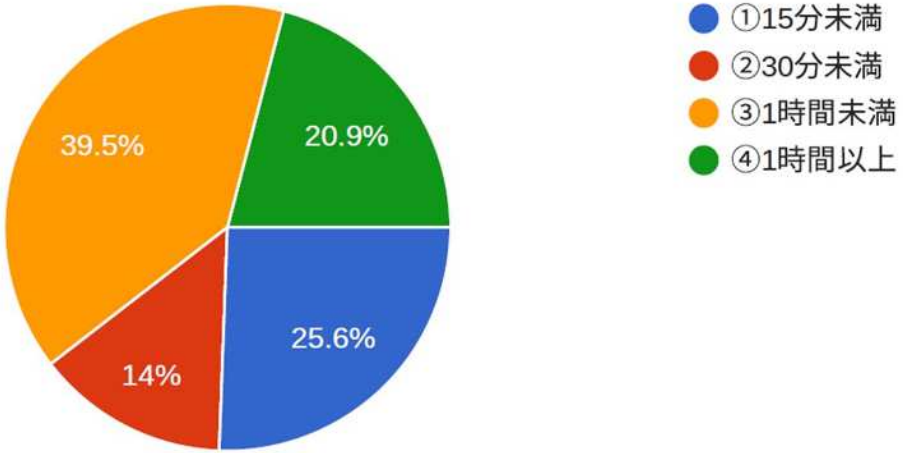
- 設置物により滞在する契機になりますか。



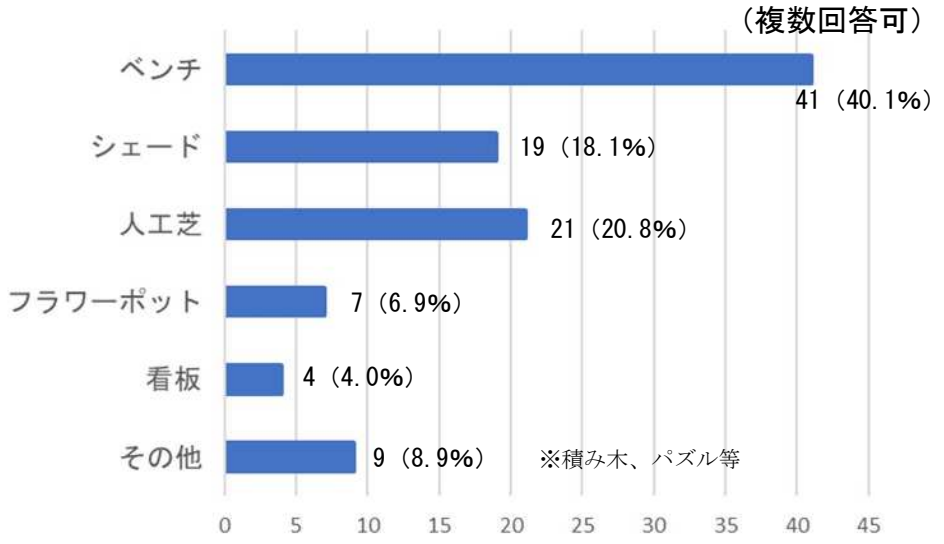
- 設置物をどんな用途で利用しましたか。



- 商店街の滞在時間はどのくらいですか。



- 設置物の中でよいと思ったものは何ですか。



4．アンケート結果（歩行者）【回答：54件】

社会実験に対する主なご意見

〇良い点

- 積み木など遊べる場所があって良い
- 目を惹く設置物が多くあった
- 人工芝がいい雰囲気だった
- 屋根付きのベンチが夏でも涼めるのでいいと思った

〇課題点

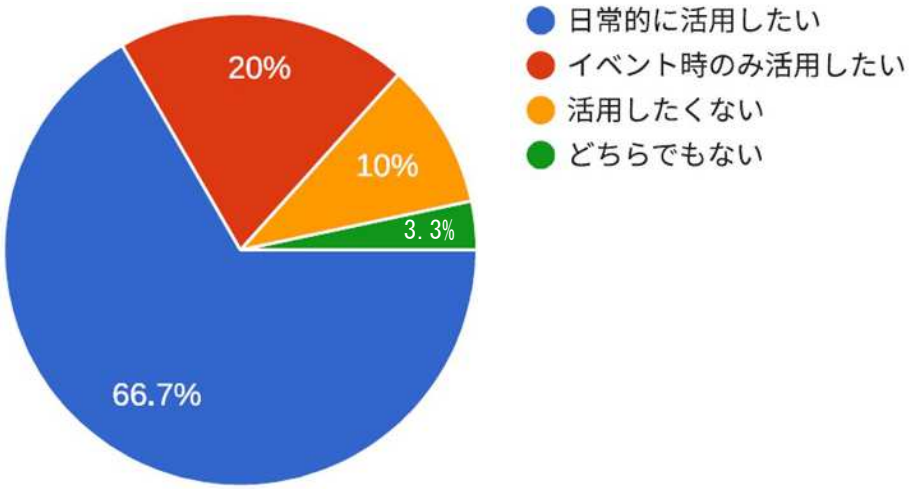
- 人工芝、ベンチを増やして欲しい、日陰が欲しい
- 花などの植物があるとよい
- フラワーポットが雑草まみれだった（維持管理）
- 歩道への乗り入れ車両が気になった

〇理想的な活用や取組意向

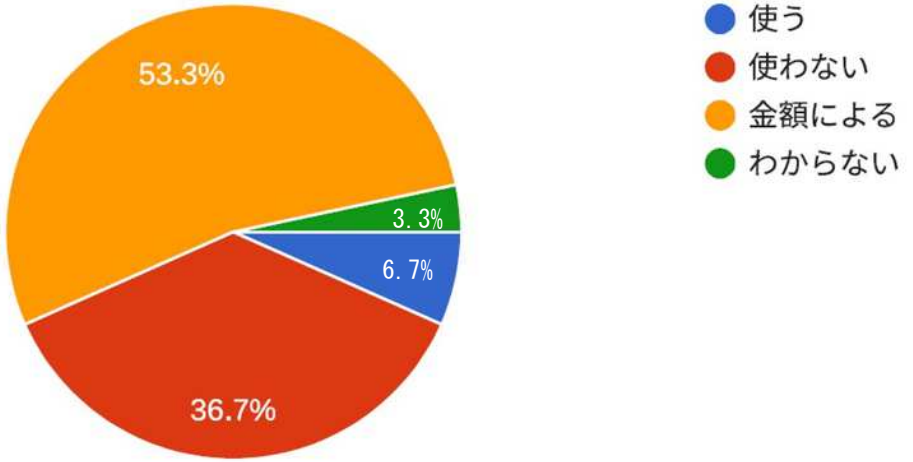
- 一人暮らしのお年寄りが多いので、井戸端会議の場所として利用できるとよい
- 沿道店舗が積極的に軒先で販売（テイクアウト商品を含む）して欲しい、お店に入るきっかけになると思う
- 安全対策をして、子どもが遊べるスペースが欲しい
- 範囲の拡大、継続的に実施して欲しい
- 誰のために使って欲しいか、ビジョンから考え、ペルソナを一緒に考えたい。

５．アンケート結果（沿道店舗）【回答：30件】

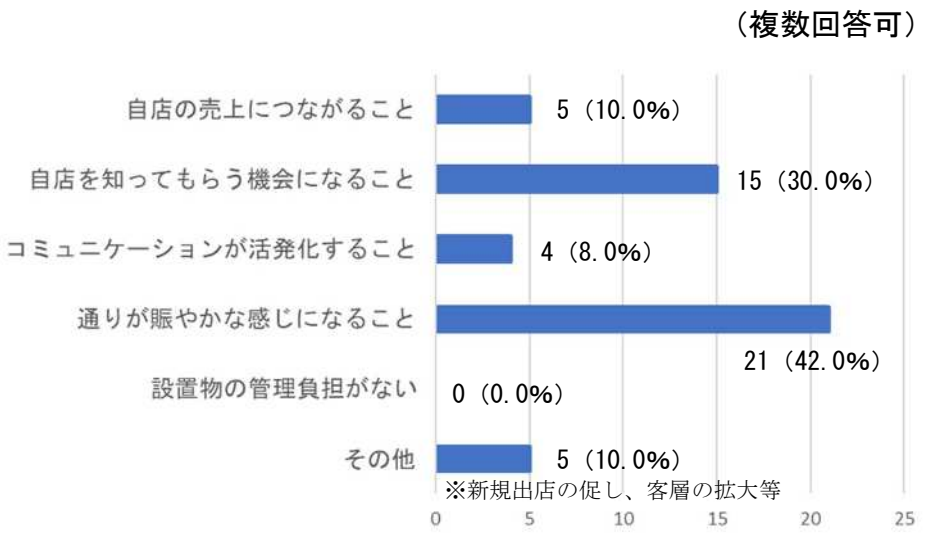
- 実験期間に歩道や軒先を活用したいですか。



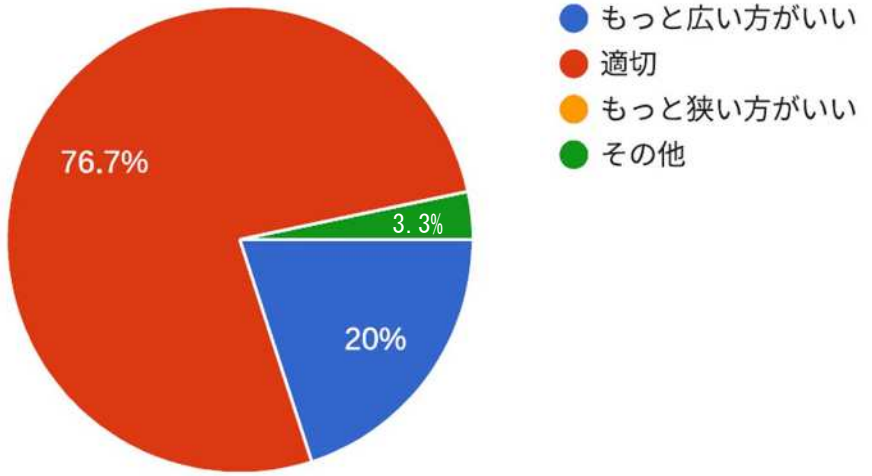
- 占用料を支払って歩道活用しますか。



- 生活社会実験に期待することは何ですか。

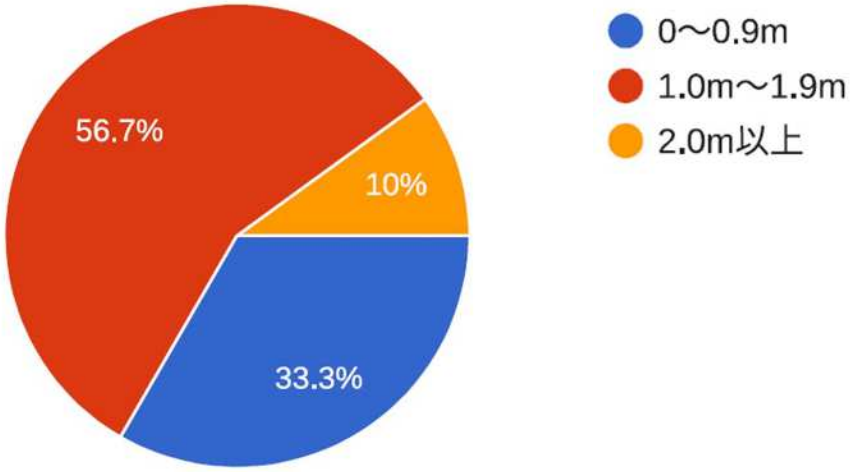


- 実験中の「活用できる歩道幅」は適切か。

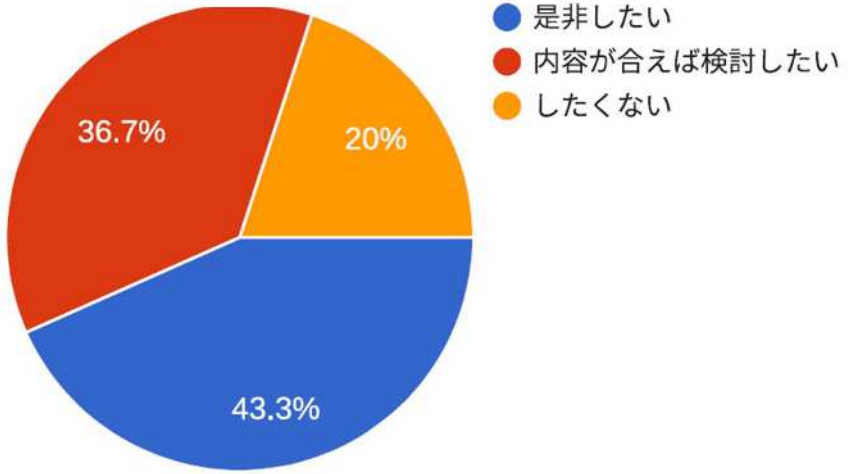


５．アンケート結果（沿道店舗）【回答：30件】

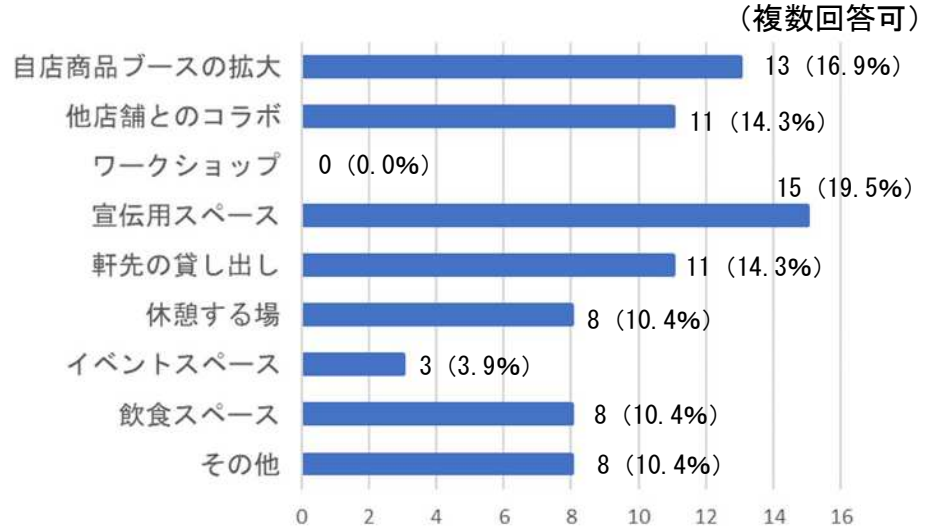
- 理想的な「活用できる歩道幅」はどうか。



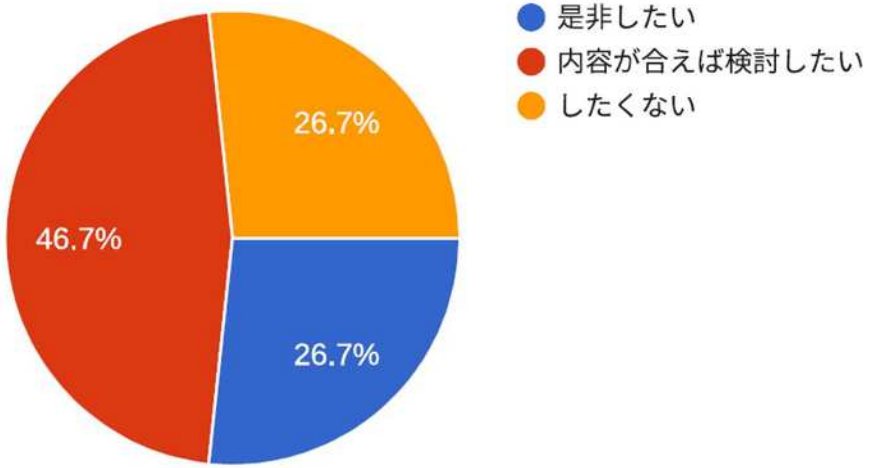
- 歩道や軒先で他店舗とのコラボ（イベント）



- 実験中の活用イメージはありますか。



- 歩道や軒先で他店舗とのコラボ（日常）



５．アンケート結果（沿道店舗）【回答：30件】

社会実験に対する主なご意見
• 面白い取組で良いと思う、人が滞留できるきっかけになる • 若者が気になって歩いてくれる • 継続的に歩道や軒先を利用したい • イベント時には軒先にワゴンを出して販売している状況 • 人員が限られており、現状の軒先利用を維持することが精一杯 • 人通りが増えれば日常的に軒先でのコラボなどチャレンジしたい • ウインドディスプレイの活用、コミュニケーションのきっかけになる • 店舗ごとに役割分担できると良い • 食べ歩きできるメニューが欲しい • 商品が日に焼けてしまう • 歩行者（視覚障害者含む）への配慮が必要 • 活用シーンの提案があると良い • ベンチに座って日常ではウインドショッピングを楽しむ（コンテストの開催）など、周辺環境と使い手の工夫が必要 • 設置物の維持管理が必要（雨上がりでもすぐ利用できるように）

5. 今後の予定

１．次回のご案内

第6回ウォーカブル勉強会

- 日時：7月11日（木）19時から
- 場所：本町BASE

【内容】
①ウォーカブルビジョン作成に向けた
ワークショップ

※内容が変更になる場合があります。
※オンライン併用で開催します。
※市HPおよび案内文書でお知らせします。

２．スケジュール

時期	内容
7月	ビジョン策定作業
8月	生活社会実験詳細検討
9月	
10月	＜作業内容＞ ・現状の課題分析 ・まちづくり計画の共有 ・生活社会実験の分析 ・目指すべき将来像の設定 ・コンセプト ・戦略（方針） ・戦術（個々の取組）
11月	生活社会実験（2回目）
12月	生活社会実験検証
令和7年1月	
2月	
3月	ビジョン公表（予定）